

審査結果報告書

2019年 2月 7日

主 査 氏 名

田中 克俊



副 査 氏 名

生地 新



副 査 氏 名

岩瀬 優美



副 査 氏 名

市倉 加奈子



1. 申請者氏名 : DM15033 松永 祐輔

2. 論文テーマ :

Effects of zolpidem/triazolam on cognitive performance 12 hours after acute administration

(超短時間型睡眠薬 triazolam と zolpidem 急性投与による認知機能への影響は服用12時間後まで持続していた)

3. 論文審査結果 :

重大事故や労働生産性低下の背景に睡眠の問題があることが強調される一方で、睡眠改善のために服用する睡眠薬による認知機能低下作用が、かえって上記リスクを増加させるという研究結果も示されている。こうした状況を受けて、各国で安全な機械操作や自動車運転のためには睡眠薬使用後どの程度の時間をおくべきかについて色々な提言がなされているが、そのためのエビデンスは未だ十分提供されていない。そこで申請者は、わが国で頻用されている睡眠薬である triazolam と zolpidem を対象に、それらが及ぼす認知機能低下が12時間に及ぶ可能性があるかについて調べた。

本研究の結果、超短時間作用型である上記睡眠薬であっても、服用12時間後も認知機能の低下が持続していることが示された。この結果は、米国の安全基準でも不十分であることを示すものであり、今後の当該分野の研究を刺激する大変有意義な研究結果と考えられる。

公開審査においては、研究デザイン、統計解析、結果の解釈、今後の介入方策、本研究を一般化する上での限界などについて幅広い質問が出されたが、申請者は適切に回答を行った。

以上より、論文及び学識とも博士学位授与に相応しいと判断された。